

INTERVIEW

専門分野を活かして働く職員【電気編】



現在の仕事内容

所属：泉消防署
警防課
警防第一係
調査担当

専門分野は電気です。日々の業務は、災害現場への出動や火災原因の調査が中心です。加えて、救急出動や各種建物への立入検査など、多岐にわたる業務を担当しています。



専門分野に進んだきっかけは何ですか？

中学生の頃、災害現場で火を消し、困っている人々を助ける消防士の姿に憧れを抱いたことが、消防職員を目指すきっかけとなりました。私はものづくりにも興味があり、学生時代は電気関連の学部で専門的な知識を学びました。その知識を消防の現場で活かし、人々の役に立ちたいという思いから入局を決意しました。

近年では、モバイルバッテリーなどの電気製品が増加し、それに伴う火災も増えています。学生時代には、電気を用いたものづくりを学んでおり、リチウムイオン電池やコンデンサの原理、危険な使用方法についても理解していました。しかし、業務を通じて実際にそれらが燃える映像を見たときは、「こんな風に燃えるのか」と驚きがありました。

働くうえで、求められる資質やスキルは何だと思いますか？

消防の仕事は、災害対応などチームでの活動が多いため、チームワークを最大限発揮する質の高いコミュニケーションが求められます。意思疎通がうまくいかないと、自身や仲間、市民の命を危険にさらす可能性もあります。効率的かつ効果的に業務を進めるうえでも、仲間どうし、チームどうしの連携は欠かせないと、仲間を大切にして協力すると、といった協調性も大切だと思います。



日々の学びやスキルアップのために取り組んでいることはありますか？

自身のスキルの向上を図るために、「火災調査」や消防車両を運転する「機関員」といった組織内での資格の取得に積極的に取り組み、学んだ知識を活かして火災原因調査についての研修を研鑽にも力を入れています。

専門知識や技術を活かして、どのような貢献ができるいると感じますか？

電気は車や家電製品など、様々な分野で使用されており、電気に関連する火災や質問に対応する機会が多くあります。そうした場面で、専門知識を活かして的確な対応ができることに、貢献の手応えを感じています。

プライベートとの両立について

仕事では、災害現場での活動や当直勤務など大変な面もありますが、休日には野球、登山、映画鑑賞、ツーリング、スノーボードなど様々な趣味を満喫し、良い気分転換を図ることができます。仕事とプライベートの両立はうまくできており、日々充実した毎日を過ごしています。



職場は風通しが良く、上司や先輩方にも気軽に相談や質問ができる環境です。職場全体で協力し合いながら業務に取り組んでおり、チームワークの良さを日々実感しています。

職場の雰囲気やチームの特徴について教えてください

近年では、ドローンやVRを活用した訓練など、消防分野で私もデジタル化が進んでいます。自身の技術や知識を活かし、より安全で使いやすい資機材の開発に携わりたいと思ってます。

今後は、消防資機材の開発に挑戦したいと考えています。

今後の目標や挑戦したいことは何ですか？



MESSAGE

専門性を活かしたキャリアを目指す方へのメッセージ



消防の仕事は、知識や技術だけでなく、使命感と責任感を持つて社会や市民の皆様一人ひとりの安全・安心に貢献する職業です。

専門職であっても、他の職員と同様に災害出動や訓練を行います。加えて、専門分野での活躍も期待されるため、日々の努力が求められます。とてもやりがいのある仕事です。

あなたの挑戦が、未来の安全を築きます。その一歩を、心から応援しています。